

## 2006 年度 日本液晶学会第 2 回理事会議事録（案）

日 時：2006 年 4 月 22 日（土）午後 1 時 00 分～5 時 30 分

会 場：東京工業大学イノベーションセンター 805 号室（田町）

出 席：竹添秀男，赤木和夫，赤羽正志，青木良夫，氏家誠司，坂本謙二，高橋泰樹，竹内清文，  
伊達宗和，内藤裕義，西川通則，能勢敏明，平岡一幸，森武 洋，山本 潤，米谷 慎，  
渡辺良一

欠 席： なし

オブザーバー出席：沼田，井上（事務局）

### 議 案

#### 1) 承認事項

##### 1-1 会員入退会の承認

- ・2006 年度 1～2006 年 3 月の入退会者数が会員委員会より報告され，承認された。

#### 2) 報告事項

##### 2-1 総務委員会（内藤理事，資料 06-04-1）

（プロアクティブとの打合せ報告）

- ・事務局担当者退職につき，プロアクティブ藤原氏との打合せ内容の報告がなされた。今後は神戸本社，東京営業部と各々担当者が分かれ，2 名体制でチームとしてスムーズな運営を図ることが報告された。

（液晶学会設立 10 周年記念企画：出版事業）

- ・継続審議事項となっていた出版事業については，検討の結果，出版は行うことで理事会意見が合意に達した。媒体は実験講座をまとめて単行本として出版，もしくは過去の会誌を CD-ROM にまとめる，の意見が出ていたが，基本は冊子体とし，CD-ROM 版を作成するか否かは継続審議とした。7 月次回理事会までに具体的に編集委員会を中心として以下の内容をまとめておくこととした。

- ・2007 年度討論会会場で展示することを目標とし，逆算して作業スケジュールを立てる。
- ・製作費作成資金：一般会計もしくは特別会計（学術活動基金）から準備金を拠出するか否かを明確にする。
- ・出版費を各理事で各社に調査し，メーリングリストで報告する。

（日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について）

- ・若手研究者の研究意欲を高め、研究の発展を支援することが目的で 2004 年度に創設された日本学術振興会賞の 2006 年度候補者推薦案内が届き，総務理事より紹介された。各理事で特に候補がいるようであれば総務委員会に一報し，総務委員会より申し込みをすることとした。

##### 2-2 財務委員会（平岡理事，資料 06-01-2）

（2005 年度会計報告）

- ・資料に基づき，2005 年度一般会計収支計算書，貸借対照表，財産目録，特別会計財産に関して報告された。2005 年度は液晶討論会，サマースクールの目立った増収が影響し，また支出も比較的抑えられたことから 400 万円強の余剰金が出るに至った。理事会で了承され，財務理事立会いのもとで，2005 年度会計監査を受けることとした。

## 2-3 編集委員会（山本理事，資料 06-01-3）

### （学会賞推薦）

- ・理事会と編集委員会の役割分担と推薦のプロセスが明確でないことが指摘されたが，当初の予定どおり，推薦候補を編集委員会内でノミネート，投票のプロセスを準備していただくこととした。
- ・近年，表彰委員会と選考委員会，推薦委員会の役割が混在している。あらためて役割分担を調査し，各々の作業に徹することとした。

### （印刷費見直し）

- ・液討開催案内，総会議事録など学会記事掲載を復活させたことにより印刷コストを抑えた策が何もなくなっている。加えて現在の印刷所での不手際が続き，引き続き全体費用の見直し，印刷所の変更なども視野に入れて検討していくこととなった。

## 2-4 情報委員会（伊達理事，資料 06-01-4）

### （サーバー移転）

- ・5月を目処にサーバーを移転，それに伴い，デザインを変更予定であることが報告された。
- ・一般参加型のJLCSメーリングリストと会員用掲示板は2年以上利用がないことから，サービスを終了することとした旨，報告された。

## 2-5 行事委員会（高橋理事，資料 06-01-5）

### （2007年度サマースクール準備報告）

- ・今年度サマースクールの概要が報告された。

日 程：2006年7月13日（木）～15日（土），定員：100名

場 所：熱海 大月ホテル

参加費：一般会員 50,000円，一般非会員 60,000円，学生会員 25,000円，学生非会員 30,000円

## 2-6 会員委員会（西川理事，資料 06-01-6）

### （住所不明者の扱い）

- ・リストを回覧し，理事個々人で知人等が含まれていないかを確認し，個別に再打診することとした。
- ・2005年度会費未納者については，会長，総務理事の諒解を得，会費督促のアナウンスを実施した。3/31時点での会員資格一時停止者は186名であることが報告され，今後，会則に基づいて処理することとなった。
- ・2005年度会費未納者から寄せられたクレームに対して事務局から対応について報告された。
- ・パンフレットとともに新規勧誘フォームを作成し，液晶学会討論会，サマースクール，フォーラム，関連学会会場などでフリーに持って行ってもらうことを検討している。Web申し込みの際の記入内容をそのまま使うのは奇異な感じがするので，会場配布用は記入内容を限定して作り直すほうがよいのではないかとの意見が出され，作り直すこととなった。

### （会員になるメリット，途中入会者への告知など）

- ・前回理事会で途中入会者への対応（会誌追加発送等），学生会員の会費請求（卒業年度は正会員扱いとするか，学生会員として扱うか）の規約がないことから，規約を制定してホームページで公開する必要があるや否やが継続審議事項となっていたが，検討の結果，理事会，事務局が認知していれば済むことであるので，規約制定までの必要はないと判断された。

- ・賛助会員に関しては、学会誌に社名を掲載することが承認された。部署単位で会員登録していただいているが、部署名の記載は省略することとした。

#### 2-7 研究委員会（竹内理事，資料なし）

- ・前回理事会以降の活動報告が行われた。

#### 2-8 2006 年液晶討論会実行委員会（能勢理事，資料 06-01-7）

（実行委員会進捗状況報告）

- ・第 2 回実行委員会（2006 年 4 月 13 日）の議事録に基づき，進捗状況が報告された。

（準備状況）

- ・以下の講演会講師 6 名が決定したことが報告された。

若生一広氏（21 あおもり産業総合支援センター），佐藤拓生氏（ソニー），

八瀬清志氏（産業技術総合研究所），米竹孝一郎氏（山形大学），

九鬼孝夫氏（NHK 放送技術研究所），中野渡旬氏（メルク）

- ・その他，プログラム委員会の設置等，滞りなく準備が進んでいることが報告された。

（要旨集発行の見直し）

- ・前回理事会時点では，予稿集冊子廃止に伴う CD-ROM 化，代案として，プログラム集（プログラムページ，学内および講演会場地図，特別講演の予稿，200 字程度の一般講演要旨等）を作成，CD-ROM とともに事前参加登録者全員に事前発送をすることで理事会承認を得たが，その後，実行委員会で下記の 2 点の理由から作成方法の見直しを図ることになった。

1. 要旨集作成には予稿集作成とは異なる諸経費がかかり，費用面では高くなることが判明した。
2. 要旨は J-Stage 上で受付けた（5/16～6/8）内容をそのまま利用する計画であったが，時期が早く，従来，印刷前に原稿差し替えなどの対応も多いことから，早い時期での内容掲載はリスクが多いと考えられた。

- ・上記 1，2 の想定される問題を解消させるための案として以下の 3 案が提示された。

（案 1）CD-ROM（予稿集）のみ発送（プログラム小冊子は当日配布）

メリット：冊子がない分，送料割安

デメリット：スケジュール・会場等の情報が、プリントアウトしないと事前にわからない

（案 2）CD-ROM（予稿集）+ プログラム小冊子の発送 当初の予定通り

メリット：スケジュール・会場等の情報が、事前にわかる。

デメリット：当日、小冊子を忘れた人へ対応が必要（小冊子増刷またはプリントアウトの準備等）

（案 3）CD-ROM のみ発送（ただし，プログラム集は学会誌 7 月号に挟み込む） 暫定案

メリット：会員への情報提供サービスとして有効

デメリット：会誌ページ削減の経緯を覆す，費用が学会本体負担となる

検討の結果，スケジュールがタイト，学会本体の負担が重くなる，年度によって体裁が不統一の 3 点から，当初の予定通り（案 2）を進めることとなった。

#### 4) その他

（第 14 回強誘電性国際会議 2007/9/2～8，北海道大学）

- ・Chairman でもある竹添会長より，概要説明が行われた。当初，学術振興会より準備金拠出を申請したが，

事情により申請はしないこととなり、代わりに、液晶学会の特別会計（学術活動基金）から準備金（シーズマネー）をお借りしたいとの希望が前回理事会同様出され、あらためて承認された。

- ・学術活動基金からの拠出に際しては運用規定に則り、管理委員会を設置することとなる。竹添会長からは管理委員として会長，理事 2 名，寄付者が指名する正会員 2 名で構成されることになっており，寄付者として小林駿介先生，内田龍男先生を選定し，管理委員会を設置したいとの意見が出され，了承された。寄付者 2 名の方には会長から就任依頼を行うこととなった。

（JST 電子アーカイブ事業調査）

- ・事務局より 2006 年 4 月 20 日に開催された JST 電子アーカイブ事業説明会での報告がなされた。
- ・本事業は過去の有益な論文誌（学会誌）を JST 内に設置されている電子アーカイブ対象誌選定委員会の選定を受けた論文誌を創刊号から無料で電子媒体としてアーカイブするというもので，2005 年度からスタートした JST の新事業である。課金の問題等が残ってはいるが，本会としては，学会誌に原著論文がない等の理由で本事業の主旨からは外れるとの考えから，申請はもとより，事前調査に対する報告も未定として返事をする事とした。

- ・次回理事会：2006 年 7 月 29 日（土）13:00～17:00 東工大イノベーションセンター

#### 配布資料

資料 2006-04-1：2006 年度第 1 回日本液晶学会理事会資料（総務委員会）

資料 2006-04-2：2006 年度第 1 回日本液晶学会理事会資料（財務委員会）

資料 2006-04-3：2006 年度第 1 回日本液晶学会理事会資料（編集委員会）

資料 2006-04-4：2006 年度第 1 回日本液晶学会理事会資料（情報委員会）

資料 2006-04-5：2006 年度第 1 回日本液晶学会理事会資料（行事委員会）

資料 2006-04-6：2006 年度第 1 回日本液晶学会理事会資料（会員委員会）

資料 2006-04-7：2006 年度第 1 回日本液晶学会理事会資料（2006 年度第 2 回討論会実行委員会議事録）

以 上